

令和5年の住宅・土地統計調査の結果を用いて五泉市の住宅の耐震化率を算定したので、その結果をお知らせします。

耐震化率	平成20年	平成25年	平成30年	令和5年
五泉市	65%	70%	74%	75%
新潟県	76%	80%	83%	87%
全国	79%	82%	87%	90%

小数点以下四捨五入

<五泉市の住宅耐震化の現状> (単位：戸)

住宅総数 (a)	16,790
耐震性を満たすもの (b=d+f+g)	12,531
耐震化率 (c=b/a)	<u>74.6%</u>
昭和56年以降に建てられたもの (d)	10,100
昭和55年以前に建てられたもの (e)	6,690
既に耐震性を満たしているもの又は満たしていると推測されるもの (f)	2,081
耐震改修を実施したことにより耐震性を満たしているもの (g)	350
耐震性を満たさないもの又は耐震性が不明なもの (h)	4,259

※五泉市の耐震化率は、5年ごとに総務省統計局が行う住宅・土地統計調査の値を用いて推計したものです。

<参考>住宅・土地統計調査結果に基づいた耐震化率の推計方法

建築物の耐震化率は、「耐震性ありの建築物」の棟数を「全建築物」の棟数で除した割合を用いています。

「耐震性ありの建築物」は、昭和56年6月1日以降の新耐震基準で建築されたものに、昭和56年5月31日以前に旧耐震基準で建築された建築物のうち耐震改修済みのものと耐震診断の結果で耐震性ありと見込まれるものとを合計したものです。

なお、住宅の耐震化率の推計は、総務省統計局が行う住宅・土地統計調査の居住世帯ありの住宅を対象とし、昭和56年5月31日以前に建築された住宅（下図B）については、統計区分の関係から昭和55年以前に建築された住宅を用いています。

$$\text{耐震化率 (\%)} = \frac{\text{耐震性ありの建築物 (棟又は戸) (A+イ+ロ)}}{\text{全建築物 (棟又は戸) (A+B)}}$$

昭和56年6月1日以降に建築された建築物 (新耐震基準) A	耐震改修済み イ	診断の結果、耐震性あり ロ	昭和56年5月31日以前に建築された建築物 (旧耐震基準) B
-----------------------------------	-------------	------------------	------------------------------------